

多量排出事業者等の令和3年度に係る産業廃棄物処理計画及び 令和2年度に係る実施状況報告の集計結果について

令和4年3月
資源循環推進課

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第12条第9項・10項及び第12条の2第10項・第11項、「廃棄物の適正な処理の確保に関する条例」第55条第1項、第2項の規定により、多量排出事業者及び準多量排出事業者から提出された令和3年度に係る産業廃棄物処理計画書及び令和2年度に係る産業廃棄物処理計画実施状況報告書の概要は下表のとおりです。

産業廃棄物の発生量が年間1,000t以上の多量排出事業者については、上記法律により平成13年度から、産業廃棄物の発生量が年間500t以上1,000t未満の事業場を持つ準多量排出事業者については、上記条例により平成21年度から、それぞれ産業廃棄物処理計画書及び報告書の提出が義務化されています。

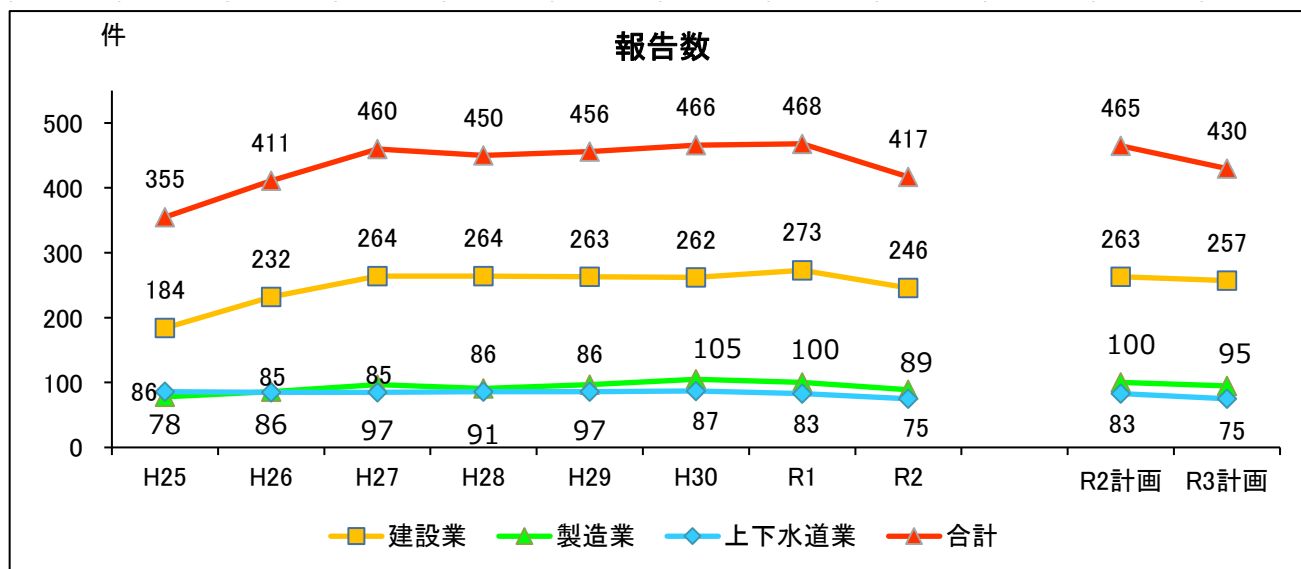
○ 令和2年度の産業廃棄物の業種別排出量は、前年度と比べて建設業は10.0%の減少、製造業は46.5%の減少、上下水道業は5.8%の減少となりました。

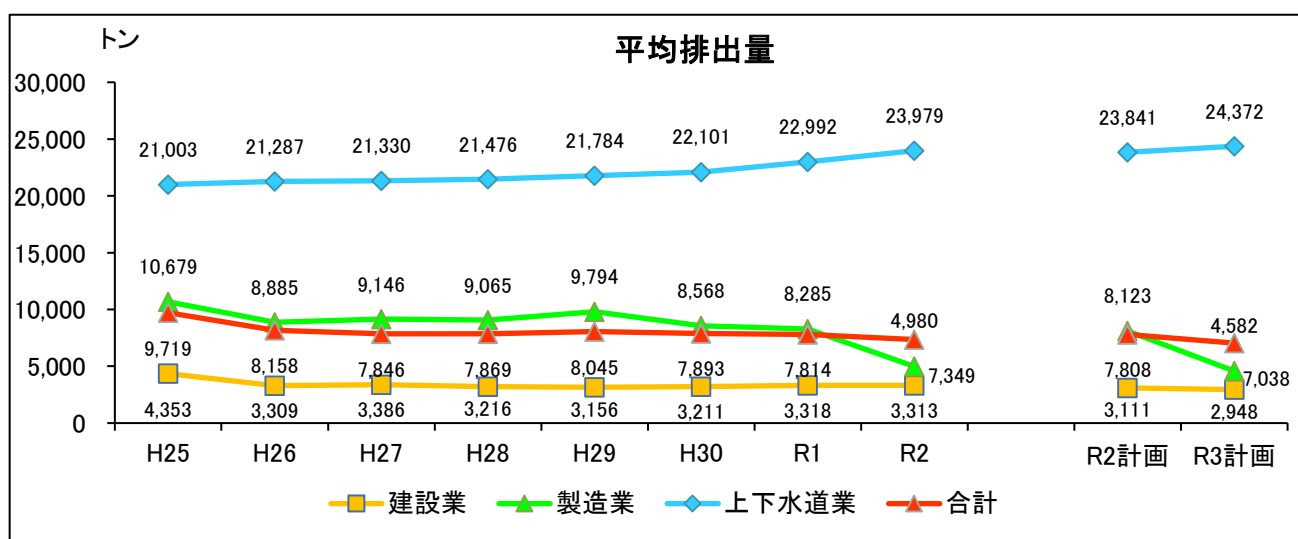
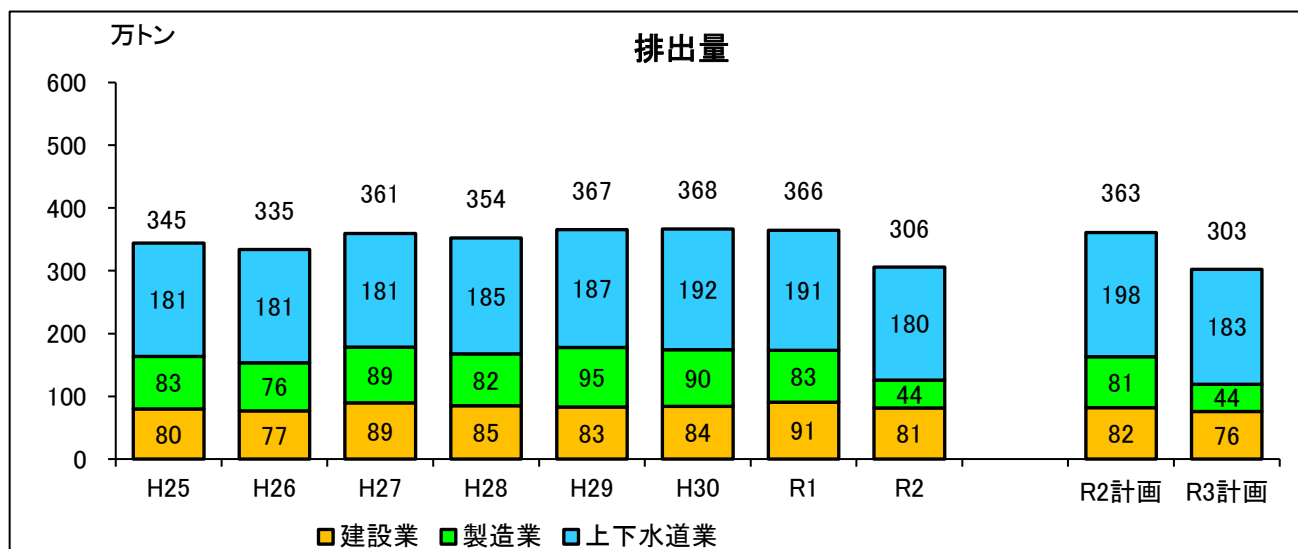
また、一事業所当たり平均排出量は、前年度と比べて建設業は0.2%の減少、製造業は39.9%の減少、上下水道は4.3%の増加となり、製造業の大幅な減少が見られました。

要因として、今年度から松本市が中核市に移行したことにより松本市内の事業所の実績が除外されていることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていると考えられます。

多量排出事業者及び準多量排出事業者に係る産業廃棄物排出量等の推移											報告数: 件 排出量: t
業種		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画	R3計画
建設業	報告数	184(35)	232(58)	264(74)	264(70)	263(71)	262(74)	273(85)	246(61)	263(65)	257(66)
	排出量	800,930	767,593	894,035	848,953	829,950	841,173	905,809	814,996	818,156	757,516
	平均排出量	4,353	3,309	3,386	3,216	3,156	3,211	3,318	3,313	2,997	2,880
製造業	報告数	78(23)	86(28)	97(37)	91(30)	97(33)	105(31)	100(32)	89(28)	100(29)	95(36)
	排出量	832,958	764,085	887,191	824,932	950,062	899,651	828,526	443,255	812,272	435,273
	平均排出量	10,679	8,885	9,146	9,065	9,794	8,568	8,285	4,980	8,123	4,353
上下水道業	報告数	86(11)	85(5)	85(4)	86(6)	86(6)	87(6)	83(6)	75(3)	83(3)	75(3)
	排出量	1,806,248	1,809,383	1,813,031	1,846,956	1,873,461	1,922,787	1,908,342	1,798,414	1,978,780	1,827,889
	平均排出量	21,003	21,287	21,330	21,476	21,784	22,101	22,992	23,979	23,841	22,023
その他	報告数	7(6)	8(7)	14(11)	9(5)	10(5)	12(7)	12(7)	7(3)	19(11)	3(1)
	排出量	10,048	11,811	15,048	20,223	15,027	14,515	14,225	7,915	21,292	5,720
	平均排出量	1,435	1,476	1,075	2,247	1,503	1,210	1,185	1,131	1,774	301
合計	報告数	355(75)	411(98)	460(126)	450(111)	456(115)	466(118)	468(130)	417(95)	465(108)	430(106)
	排出量	3,450,184	3,352,873	3,609,305	3,541,064	3,668,500	3,678,125	3,656,902	3,064,580	3,630,500	3,026,398
	平均排出量	9,719	8,158	7,846	7,869	8,045	7,893	7,814	7,349	7,757	6,345

※ ()は条例に基づく報告数で内数



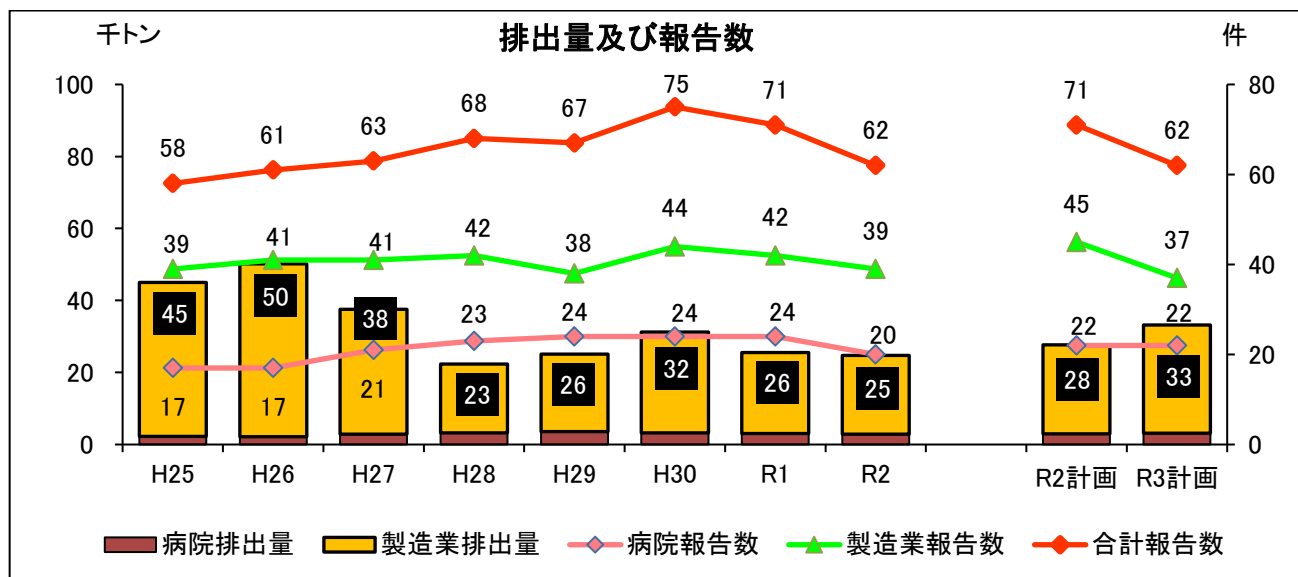


- 令和2年度の特別管理産業廃棄物の業種別排出量は、前年度と比べて病院は6.2%の減少、製造業は2.6%の減少となりました。
- 要因として、今年度から松本市が中核市に移行したことにより松本市内の事業所の実績が除外されていることが考えられます。
- 一方、一事業所当たり平均排出量は、前年度と比べて病院は12.6%の増加、製造業は4.9%の増加となり、いずれも若干の増加が見られました。
- 要因として、病院では新型コロナウイルス感染症拡大による排出量の増加、製造業では半導体需要の高まりを受けた排出量の増加が考えられます。

多量排出事業者に係る特別管理産業廃棄物排出量の推移

報告数: 件
排出量: t

業種		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2計画	R3計画
病院	報告数	17	17	21	23	24	24	24	20	22	22
	排出量	2,217	2,191	2,875	3,204	3,583	3,193	3,033	2,845	2,937	3,155
	平均排出量	130	129	137	139	149	133	126	142	134	143
製造業	報告数	39	41	41	42	38	44	42	39	45	37
	排出量	42,777	48,014	34,675	19,144	21,547	28,038	22,488	21,899	24,752	30,045
	平均排出量	1,097	1,171	846	456	567	637	535	562	550	812
その他	報告数	2	3	1	3	5	7	5	3	4	3
	排出量	95	135	89	783	717	1,072	808	128	652	161
	平均排出量	48	45	89	261	143	153	162	43	163	54
合計	報告数	58	61	63	68	67	75	71	62	71	62
	排出量	45,089	50,339	37,639	23,130	25,847	32,303	26,329	24,790	28,341	33,361
	平均排出量	777	825	597	340	386	431	371	400	399	538



○ 地区別の産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の排出量及び報告事業場数は下表のとおりです。

事業場所在地別業種別産業廃棄物排出量(令和2年度実績)及び報告事業場数(法及び条例対象分) (単位:t)

区分	種別	項目	東信	南信	中信	北信	県外等※	合計
産業廃棄物	建設業	事業場数	45	73	52	24	52	246
		排出量	159,330	292,578	146,692	54,981	161,415	814,996
	製造業	事業場数	11	41	18	19	0	89
		排出量	27,016	82,753	103,191	230,295	0	443,255
	上下水道業	事業場数	24	30	12	9	0	75
		排出量	624,984	777,470	321,587	74,373	0	1,798,414
	その他	事業場数	1	1	1	2	2	7
		排出量	88	1,944	481	797	4,605	7,915
	計	事業場数	81	145	83	54	54	417
		排出量	811,419	1,154,744	571,952	360,446	166,020	3,064,580
特別管理産業廃棄物	病院業	事業場数	7	9	3	1	0	20
		排出量	922	832	284	807	0	2,845
	製造業	事業場数	9	20	4	6	0	39
		排出量	1,371	16,534	3,064	931	0	21,899
	その他	事業場数	1	2	0	0	0	3
		排出量	46	82	0	0	0	128
	計	事業場数	17	31	7	7	0	62
		排出量	2,339	17,448	3,348	1,737	0	24,872
合計		事業場数	98	176	90	61	54	479
		排出量	813,757	1,172,192	575,300	362,183	166,020	3,089,452

※県外又は長野市内・松本市内の支店等が管理する、長野県(長野市・松本市を除く。)内の作業場等から排出された産業廃棄物に係る事項